

職場の防災 タイムライン

平常時から翌日以降まで、順番にやることを整理しました。防災担当の方の確認用にどうぞ。



STEP 1 平常時にやっておく

いちばん効くのはここ

決める

安否確認の方法を決める

安否確認アプリか、災害用伝言板。全員が「使ったことがある」状態に

そろえる

備蓄は社員数×3日分

水・食料・簡易トイレ。帰宅困難者を出さない前提で用意します

直す

キャビネット・複合機を固定

倒れると避難経路をふさぎます。背の高い什器から優先で

ためす

年1回は避難訓練

経路を歩いておくと、暗くても体が動きます



STEP 2 発生直後（～5分）

守るのは、まず人

守る

机の下で頭を守る

来客がいれば声をかけて誘導。動くのは揺れが止まってから

止める

火元とガスを止める

給湯室・厨房。使用中でも身の安全が先です

開ける

出口を確保する

扉を開け、避難経路に倒れた什器がないか確認

数える

けが人の確認

声を出して人数を数える。ひとりにしないこと



STEP 3 当日の判断（～数時間）

帰るか、留めるか

とどまる

原則、その場にとどまる

一斉帰宅は救助活動をさまたげます。まず情報収集を

集める

安否を集約して共有

誰が出勤・外出・休みか。連絡がつかない人を最優先で追う

記録する

建物の被害を記録

ひび・傾き・水漏れを写真で。判断と保険の根拠になります

判断する

帰宅は明るいうちに判断

交通・道路状況を確認し、徒歩ルート of 安全を見てから



STEP 4 翌日以降

働ける状態に戻す

把握する

出勤できる人を把握する

家庭の事情を無理に押しきらない。人が先、業務は後

絞る

優先業務を絞る

全部は動きません。止められない業務を3つだけ決めておく

伝える

取引先への一報

状況と再開見込みを、分かる範囲で早めに

見直す

振り返って手順を直す

動けなかった点を、次の訓練までに1つずつ潰します



訓練は、いちばん効く投資です。
備蓄品・保安用品のご相談はお気軽に



お問い合わせは
TEL 0748-67-8055



専用アドレス info@hoan.sc-2.jp FAX 0748-67-8045